

ビジュアルデザイン全般に関連する研究・制作

研究内容

ビジュアルデザイン全般の中でもグラフィックデザインと3DCGを用いたイラストレーションにフォーカスをあてて、研究・制作しています。グラフィックデザインにおいては、主に公共団体・施設等の広報物や出版物の実制作を通して、よりよいデザインのあり方について考えています。また、3DCGを用いたイラストレーションにおいては、特定の形状をモチーフにした作品制作をメインに発表を続けています。

地域・産学連携の可能性

様々な団体と共同で、グラフィックデザインやイラストレーションの編集・制作・提案・開発を行なっています。制作事例としては、地域住民・自治体と一体となって制作した街歩きマップ、宮城県教育庁パンフレットの編集デザイン、他大学と共同で制作した新品種告知アイテム、地域イベントのカタログ制作、デパートのキャラクター開発などたくさんの事例があります。多くの場合、教員の指導の下、研究室所属学生のアイデアも取り入れながら提案しています。また、この地域・産学連携のアウトプットに至るプロセスを、個人の研究にも生かしています。



地域・産学連携の事例(街歩きマップ/様々なパンフレット・カタログ類/キャラクター制作)

このテーマに関連するSDGs開発目標



ライフデザイン学部 産業デザイン学科 ビジュアルデザイン全般 (グラフィックデザイン、3DCG を用いたイラストレーション)

篠原 良太 SHINOHARA Ryota

教授、工学士

URL <http://www.shinolab.com>
<https://www.switcher.jp>

